

令和7年度の着隊業務を実施

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 大谷三穂1等海佐）は、3月下旬から4月上旬にかけて、令和7年度の入隊予定者の着隊業務を実施した。

神奈川地本から一般曹候補生及び自衛官候補生として入隊予定の方々が本部庁舎等に集合し、バスにて各地にある陸上・海上・航空自衛隊の教育部隊に向け旅立った。入隊予定者は、見送りに来てくれた保護者や友人、担当の広報官から激励の言葉をかけられ、「頑張ってくる」と決意を胸にバスに乗り込んでいた。

バスの中では、入隊が直前に迫り、緊張した面持ちの入隊予定者の姿も見られたが、引率した広報官は自身が入隊した際の体験談を話したり、入隊予定者それぞれの自己紹介を行うなど、リラクセスして着隊できるように努めた。教育隊に到着した入隊予定者は、受付や身体検査などの手続きを済ませ、「服務の宣誓」の時間を迎えた。隊長から服務の本旨や宣誓を行う意義についての説明を受けた後、宣誓書への署名を行って晴れて入隊となり、同期となる仲間とともに自衛官及び自衛官候補生としての第一歩を踏み出した。

服務の宣誓の完了を確認して地本の着隊業務は終了となり、広報官はこれから始まる教育隊での訓練へ臨む新入隊員を励まし、ゴールデンウィークには帰省してご家族に成長した姿を見せ、出来れば母校を訪問し先生や後輩へ入隊報告や自衛隊のPRをしてもらうようお願いして帰途についた。

神奈川地方協力本部は、「我々に求められている人的基盤の充実を図るため、今後も入隊希望者に寄り添った募集広報活動に取り組んでいく」としている。



公安系職種合同説明会を実施

自衛隊神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 明神忠雄3等海佐）は、社会の安全と秩序を守る公安系職種への就職を希望する方々を対象に、厚木消防署、神奈川県警厚木警察署と協力して説明会を開催している。

4月9日（水）、厚木市の「アミューあつぎ」で行われた公安系職種合同説明会には、事前に申し込みのあった7名が参加した。

前半は各職種別に仕事内容や福利厚生、試験制度などの全般説明が行われ、参加者は真剣な表情で聞き入り、それぞれの仕事に対する理解を深めていった。初めて自衛隊の職種や仕事内容を聞いたという参加者は、職種の幅広さや事務系の仕事があることに驚いた様子を見せ、改善された処遇や福利厚生についても興味を示していた。

後半は各職種それぞれのブースにおいて懇談会が実施され、自衛隊ブースでは広報官から自身の経験談を話すなど参加者の緊張を解き、和やかなムードで懇談会は進んでいった。参加者からは「試験の難易度は」「職域はどのように決まってくるのか」「転勤の頻度は」など様々な質問があり、広報官は一つ一つ丁寧に対応し、説明会は笑顔で幕を閉じた。

厚木募集案内所は、今後も担当地域の警察や消防等との連携強化を図り、自衛隊を理解していただく機会を増やし志願者の獲得に努めていくとしている。

